※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１４

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　現代文Ｂ（数研出版）						
副教材等	「現代文単語 げんたん 改訂版」（いいずな書店） 「最新国語便覧」（数研出版） 「重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「完成 日本文学史ノート 三訂版」（京都書房） 「錬成 現代文」（尚文出版） 「共通テスト対策 国語マーク完答２８」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年現代文では、近代以降の文章を題材に「読む」「書く」技能をさらに向上させることを目指します。資料を読み取って、相手に正しく伝わるように記述し、文と文や語と語の関係性を意識しながら、正しく読み書きすることも目指します。また、実用的な文章を題材とした問題や、複数の資料を踏まえて考える「新傾向」問題にも取り組みます。授業時間が限られているので、漢字や現代文単語、文学史などは、自宅で学習して下さい。

２　学習の到達目標

１、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２、近代以降の様々な文章を読むことで、ものの味方、感じ方、考え方を深める。
３、進んで表現し、読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めると共に、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについて理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述内容の確認 記述内容の分析	グループ活動の様子や発言内容 発表の仕方 記述内容の分析	記述内容の確認 記述内容の分析 小テスト 定期考査	発言内容 記述内容の確認 記述内容の分析 的考査	発言内容 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期前半	評論・小説	・「『文化が違う』とは何を意味するのか？」 (岡真理) ・「赤い繭」(安部公房)	○	○	○	○	○	a:短編小説の面白さを味わう。 bc:真の異文化理解とはどのようなことかを考え、発表する。 d:筆者の言う文化相対主義とはどのようなことかを読み取り、理解する。 e:安部公房に知識や関心を持つ。	a:授業態度 bc:課題の提出 d:発問評価 定期考査 e:定期考査
一学期後半	評論	・「文学のふるさと」 (坂口安吾) ・「舞姫」(森鷗外)	○		○	○	○	a:近代小説を読み味わう。 c:心情語・台詞・風景描写等の根拠を正確に踏まえて記述する。 d:明治の知識人である主人公の内面、人間的弱さを読み取る。 e:坂口安吾・森鷗外に知識や関心を持つ。	a:授業態度 c:課題の提出 d:発問評価 定期考査 e:定期考査
二学期中間	詩・評論	・「表札」(石垣りん)他 ・「『である』ことと『する』こと」(丸山真男)	○	○		○	○	a:詩の面白さを味わう。 b:現実社会における「である」「する」価値観について話し合い、民主主義について考える。 d:「である」「する」価値観について正しく理解する。 作品の背景と登場人物の心理を理解する。 e:石垣りんに知識や関心を持つ。	a:授業態度 b:授業態度 課題の提出 d:発問評価 定期考査 e:定期考査
二学期後半		問題演習 （マーク型の過去問、予想問題演習）	○		○	◎	○	a:主体的に取り組む。 c:設問に応じた解答を作成する。 d:文章を総合的に読解する。 e:読解に必要な常識・単語・文法の力を持つ。	a:授業態度 cde: 発問評価・定期考査
三学期		問題演習 （各大学の過去の入試問題演習）	○		○	◎	○	a:主体的に取り組む。 c:設問に応じた解答を作成する。 d:文章を総合的に読解する。 e:読解に必要な常識・単語・文法の力を持つ。	a:授業態度 cde: 発問評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。